



2026年2月16日

各 位

会 社 名 株式会社ブロードバンドセキュリティ
代 表 者 名 代表取締役社長 滝澤 貴志
(コード 4398 東証スタンダード)
問 合 せ 先 管理本部経営企画部長 高田 宜史
(TEL 03-5338-7430)

アウトソーシング型セキュリティ対策サービス「G-MDR®」 採用企業が拡大

—情報通信業を含む幅広い業種で、24時間365日の検知・対応体制を強化—

株式会社ブロードバンドセキュリティ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：滝澤貴志、以下 BBSec）は、アウトソーシング型セキュリティ対策サービス「G-MDR®（Global Managed Detection and Response Services）」について、ピー・シー・エー株式会社（本社：東京都千代田区、以下 PCA）様に採用されたことをお知らせします。G-MDR®は、セキュリティに特化した「人」と「最新テクノロジー」を統合し、高度な検出と対応（分析・検知・遮断と封じ込め・被害調査・被害対応支援）を24時間365日体制で提供するサービスです。

背景：情報通信業界でも高まる「止まるリスク」と「連鎖するリスク」

サイバー攻撃は高度化・巧妙化し、企業規模や業態を問わず被害が発生しています。IPA（情報処理推進機構）が公表した「情報セキュリティ 10 大脅威 2025（組織）」では、「ランサム攻撃による被害」「サプライチェーンや委託先を狙った攻撃」「分散型サービス妨害攻撃（DDoS 攻撃）」などが挙げられ、常時監視と迅速な初動対応の重要性が示されています。

また、経済産業省は、中小企業の約 7 割で組織的なセキュリティ体制が整備されていない実態に加え、過去 3 年間に被害に遭った中小企業のうち約 7 割で取引先にも影響が及んだ、いわゆる「サイバードミノ」が起きていると公表しています。

このように、「サービス停止（可用性）と、委託・取引を通じた影響の連鎖（サプライチェーン）への備え」は、情報通信業界を含む幅広い組織に共通する課題となっています。

採用拡大の要因：24時間365日運用と、既存対策の統合監視ニーズ

G-MDR®は、複数のセキュリティ対策を統合的に監視・相関分析し、単体監視では検出が

難しい脅威の早期検知と迅速な対応を支援します。専門エンジニアが24時間365日体制で監視・運用を担い、平時の脅威分析（スレットハンティング）から有事の対応支援まで、包括的に提供します。

[G-MDR® | 株式会社ブロードバンドセキュリティ](#)

【ピー・シー・エー株式会社（PCA）様について】

所在地：東京都千代田区富士見 1-2-21 PCA ビル／資本金：8億9040万円／事業内容：コンピューターソフトの開発および販売／（参考）連結売上高：162億37百万円

【BBSecについて】

BBSecは、2000年創業のトータルセキュリティ・サービスプロバイダーです。現状の可視化や診断から事故発生時の対応、24時間365日体制での運用まで、フルラインアップのサービスを提供しています。高い技術力と豊富な経験、幅広い情報収集力を生かし、「サプライチェーンを狙った攻撃」「社会インフラを狙った攻撃」「AI時代のセキュリティ」を解決すべき社会課題ととらえ、より多くのお客様を悪意ある攻撃者から守ることで、「便利で安全なネットワーク社会を創造する」というビジョンを実現します。

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ブロードバンドセキュリティ 経営企画部

TEL：03-5338-7430 E-mail：press@bbsec.co.jp